



中村 和世  
ローレンシャンインターナショナルスクール校長

グローバル人材に欠かせない  
「思考の軸、を育む体験を！」

らではの具体性と説得力に満ちている。グローバル競争のさなかにあるからこそ、日本らしさを大切に考える志ある父兄から寄せられる高い評価も頷けよう。

中村校長自身、中部地区屈指の進学校であり、全国でも医学部進学率が高いことで知られる私立の女子中・高を卒業後、当時の文部省からの派遣でシャワーもトイレも不十分な時代の中国に渡り、アフリカを含む世界中の学生たちとともに学び、国際金融機関で働いた経歴を持つ。一方、英オックスフォード、米コロンビア大にも学び、世界各国で最上と思われれる初等・中等教育を受けてきた選良たちと机を並べ、困難な状況にある音楽家のためのファンドレイジングに携わった。

「豊かな国の豊かな人々から、発展途上の国の先行きを託された若者まで、未来のリーダーとなるべき幅広い層の学生たちと関わるなかで、常に私の頭にあっ

きた、ローレンシャンインターナショナルスクールの中村和世校長である。

「このような『思考の軸』を育むための教育を幼少期から受けてきた諸外国の人たちと、将来、一つのプロジェクトを遂行したり、ルールを共有したりすること、これからの日本の子どもたちも行っていかなければならないでしょう。そう考えると、日本でも初等教育レベルからできること、すべきことがもっとあるように思えてならないのです」

**財界リーダーも支持する  
「世界のレベル」を知る私塾**

やわらかな物腰で話す中村校長の印象だが、話し始めて10分もすると表情が様変わりする。日本を代表するモノづくりの企業がひしめく名古屋にあって財界からの信頼も厚く、また由緒あるこの土地の歴史や文化、経済を支えてきた名家の子弟も通う、知る人ぞ知る現代の私塾。その長の言葉は、自ら海外に出て体験を積み、現場で見聞を広めてきた指導者な

たのは、日本や日本人の持つ強みと課題について考えることでした」

目指しているのは、世界で金儲けをするための教育ではない。多様な価値観に彩られた人々と深くつきあい、信頼関係を築いていける力を養う学びである。

**夏のグローバルキャンプ  
小さな地球人が育つ場へ**

ローレンシャンインターナショナルスクールでは毎年、地元財界のトップ層が会場を提供し、生徒自身がテーマを選んで調べたことを発表するプレゼンテーション大会を実施する。そのゲストは、実に多岐にわたる。中東で何千億円もの厳しい交渉に携わった国際金融機関の財務部長や、地元国立大学の数学者、ハーバードやケンブリッジで教鞭を執る博士。まさに日本を代表する、世界の第一線で活躍するグローバルリーダーが名古屋まで足を運び、小学生の言葉に耳を傾け、直にアドバイスを投げ掛ける。また、中村校長には、スクールとして取り組むべき事柄について具体的な提言もするという。

「こんなにも贅沢な環境から、財界人も唸らせるほどの発表をする子が育ってきています。この機会を、もっと多くの子どもたちに。全国の教育熱心なご家庭からの要望もあり、この夏、プログラムを再現する合宿を本格化させました」

ローレンシャン夏のグローバルキャンプ。日本の未来を拓く子がそこに集う。

# ローレンシャンインターナショナルスクール 世界を動かす子どももが育つ 「グローバル初等教育」への挑戦

未来のリーダーを創る現代の私塾

子どもの未来のために  
日本の初等教育に変革を

フランスのある名門小学校の校長は、机の上のペン立てを優雅な手つきで横倒しにすると、一面に散らばった色とりどりのペンを指さしてこう言った。

「まあ、このペンとペン立てについて、なんでもいから語りなさい」

これはこの小学校で、低学年の子どもたちがよく行うプラクティスだと校長は話す。同様に、日本の歴代外交官の子弟を受け入れてきた英国の小学校でも、例えば1ポンドコインを見せて「あなたはこれにいくらの価値をつけますか？」などと問う、答えのない答えを考えさせる質問スタイルがよく見られるという。

「同じものを見て、同じ体験をしても、他人は自分とはまったく異なる捉え方や感じ方をする。そのことに気づく体験を早くから繰り返すことは極めて重要です」

こう話すのは、名古屋で幼少期からのグローバル教育に取り組み実績を上げて

きた、ローレンシャンインターナショナルスクールの中村和世校長である。

「このような『思考の軸』を育むための教育を幼少期から受けてきた諸外国の人たちと、将来、一つのプロジェクトを遂行したり、ルールを共有したりすること、これからの日本の子どもたちも行っていかなければならないでしょう。そう考えると、日本でも初等教育レベルからできること、すべきことがもっとあるように思えてならないのです」

**財界リーダーも支持する  
「世界のレベル」を知る私塾**

やわらかな物腰で話す中村校長の印象だが、話し始めて10分もすると表情が様変わりする。日本を代表するモノづくりの企業がひしめく名古屋にあって財界からの信頼も厚く、また由緒あるこの土地の歴史や文化、経済を支えてきた名家の子弟も通う、知る人ぞ知る現代の私塾。その長の言葉は、自ら海外に出て体験を積み、現場で見聞を広めてきた指導者な

グローバル社会を勝ち抜くための教育は大人になってからでは間に合わない。小学校低学年、できれば幼児期から始めてこそ、日本人としてのアイデンティティを持ちながら世界の多様な価値観を認めあえる人材が育つという。名古屋でそれを実践する私塾を訪ねた。



## 子どもが変わる、未来が見える 軽井沢「夏のグローバルキャンプ」

2016年 大好評のうちに終了致しました！

8月1日(月)～7日(日)：7日間

経験豊富なアメリカ人、フランス人、人工知能開発に携わる若手現役IT技術者、第一線で活躍するアーティスト、国際バカロレア認定資格受講者の講師陣が、子どもたちとダイナミックに創り上げる、夏の軽井沢グローバルキャンプ。立命館アジア太平洋大学を舞台に行われた昨年のキャンプに続き、今年も多くの未来のグローバルリーダーが、大きく成長する夏になるだろう。



日程：2016年8月1日～7日  
会場：軽井沢プリンスホテル  
対象：小学1年生～6年生(60名)  
集合・解散地：名古屋・東京・軽井沢

【facebook ページ】  
<http://facebook.com/globalkids2016>  
【スクールホームページ】  
<http://iq-kids.net>

.....【プログラム内容】.....

- ◆国際バカロレア準拠プログラム
  - ・リーダーシップ
  - ・チームビルディング
  - ・プランメイキング
  - ・プレゼンテーション
  - ・デザイン思考
  - ・意志決定プロセス
  - ・小学生による子供サミット
- ◆現役IT技術者によるプログラム
- ◆アクティビティ
  - ・リポートレッキング
  - ・森のナイトツアー
  - ・美術館研修 など

- 説明会
  - 東京 7月3日(日) 13:00～ グランドプリンスホテル高輪
  - 名古屋 6月26日(日) 10:30～ ローレンシャンインターナショナルスクール